

2026/9/28

報道関係者各位

アンリツ株式会社

アンリツ、India Mobile Congress 2026 に出展

～次世代通信技術を支える評価ソリューションを紹介～



アンリツ株式会社（社長 濱田 宏一）は、2026 年 10 月 7 日から 10 日までインド・ニューデリーで開催される「India Mobile Congress 2026」に出展します。アンリツブースでは、AI、6G、デジタルツインをはじめ、次世代通信技術の研究開発や実用化を支援する評価ソリューションを紹介します。

出展ソリューション

・ 6G に向けたネットワークデジタルツインによる評価・検証

本展示では、将来の 6G ネットワークに向けたネットワークデジタルツインの評価・検証手法を紹介します。実際のネットワーク環境から収集したデータを用いて、ネットワークデジタルツイン技術の検証や改良を行うための実践的な環境を提供します。

・ FR3 評価プラットフォーム

FR3 周波数帯に対応したアンリツの最新評価ソリューションを展示します。最大 16 GHz まで試験対象周波数を拡張することで、将来の 6G 技術の開発および実用化の加速を支援します。

・ SDV 向け仮想化車載テストソリューション

Software Defined Vehicle (SDV) 向けの仮想化車載テストソリューションを紹介します。実環境で行う接続試験を仮想環境上で再現することで、コネクテッドカー技術の評価効率向上や開発コスト削減、開発期間短縮に貢献します。

・ 高信頼通信に向けた、フィールドからクラウドまでの可視化と評価

自動運転や遠隔操作、産業 IoT などの普及に伴い、信頼性の高い通信の重要性が高まっています。本ソリューションは、無線品質評価、接続性試験、クラウドネットワーク評価を組み合わせることで、通信

経路全体の性能と信頼性を可視化し、実運用前の課題発見を支援します。

・ **ミリ波レーダ測定ソリューション**

ミリ波レーダシステムの特長評価向け近傍界測定技術を紹介します。自動車、産業機器、医療、セキュリティ分野における高度なセンシング技術の開発と量産化を支援します。

・ **RIS 向け True Bi-static RCS 測定**

電波伝搬環境を制御する技術である Reconfigurable Intelligent Surface (RIS) の反射特性を評価する Radar Cross Section (RCS：レーダ断面積) 測定を紹介します。アンリツ独自の PhaseLync 技術を用いた、高精度な Bi-static 位相同期測定をご覧ください。本ソリューションは、先進的な無線通信研究に加え、ANS（エアロスペース&ナショナルセキュリティ）分野での研究開発にも活用できます。

・ **伝統的な漆装飾を施した Tensor VNA コンセプトモデル**

AI による測定支援を搭載した Tensor Vector Network Analyzer に、伝統工芸である漆装飾を施したコンセプトモデルを展示します。先進的な測定技術とクラフトマンシップを融合し、アンリツのものづくりの姿勢を表現します。

アンリツは、研究開発から実環境での評価までを支える試験・測定ソリューションを通じて、お客さまの技術革新を支援します。アンリツブース：B1（Yashobhoomi：India International Convention & Expo Centre）で皆さまのご来場をお待ちしています。

出展内容に関する詳細 https://apsr.anritsu.com/en-in/tm/imc_26（英文サイト）

アンリツの製品・ソリューション・その他の情報は、
ソリューション紹介ページ <https://www.anritsu.com/ja-jp/test-measurement/solutions>
および Facebook <https://www.facebook.com/AnritsuTandM> でご覧いただけます。

[報道関係のお問い合わせ先]

アンリツ株式会社

コーポレートブランディング部 鈴木

TEL：046-296-6671

E-mail：PR@anritsu.com